



# 吉原

教育目標

「夢」に向かい、根気よく努力する子どもの育成

舞鶴市立吉原小学校  
学校だより  
11月号  
令和6年10月31日

HP  
2次元コード



## さまざまな体験が成長につながる



先日のニュースで東京都は、10月19日に最高気温が30.1度となり、最も遅い「真夏日」となったそうです。いつまでこんな日が続くのだろうと心配していましたが、ようやく朝晩の冷え込みと同じように、日中も過ごしやすい気温になってきました。

10月12日(土)の運動会では、保護者の皆様におかれましては、前日準備から当日の後片付けまでお世話になりありがとうございました。また、ご来賓や地域の皆様、ご家族の皆様と多くの方々にご来校いただき、たくさんのご声援をいただいたことで、子どもたちも大いに張り切り、笑顔いっぱいの運動会となりました。

さて、学校では運動会が終わってもさまざまな行事、学習の予定があります。29日(火)には校内マラソンが行われました。一生懸命走っている子どもたちの姿に、沿道からたくさんの温かい応援をいただき、ありがとうございました。本番を迎えるに当たって子どもたちは、朝マラソンを行い、練習を積んできました。朝マラソンでは、誰一人歩かず、全員が一生懸命走っていました。何事にもあきらめず、一生懸命取り組む姿は、運動会を通じた体験が大きな成長につながったのではないかと思います。

私事ではありますが、先日「舞鶴赤れんがハーフマラソン」に出場しました。レース後半、脚の筋肉が悲鳴をあげ、何度も膝の痛みを感じました。途中歩きはしつつも、何とか完走することができました。ゴールをした瞬間、地面に倒れこんだと同時に走り切った喜びは、こんな年齢(5?歳)になっても代え難い体験となりました。そして、21km走り切ったことが「まだまだ、成長できる部分があるんだ」と改めて感じました。

元フィギュアスケート選手の高橋大輔選手は現役復帰し、アイスダンスに転向してオリンピックに挑戦する際、「まだまだ変わる部分、成長できる部分がある。」と述べています。子どもたちなら、なおさら成長する部分はたくさんあるのではないのでしょうか。得意なことや苦手なこと、そして、まだ体験していないこと等、さまざまな体験を通じて、子どもたち一人一人が成長していくよう、今後も教職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。2学期後半、保護者の皆様、地域の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

校長 弓下 伸二  
教職員 一同

